

短歌

たけうち はちろう
竹内八郎



萩市
(1899～1974)

竹内八郎は萩市の出身。同志社大学在学中、『霸王樹』の同人となり、橋田東声、臼井大翼の指導を受ける。山口県立萩商工高等学校の教員となり、県内の歌誌『白梅』や『水可美』『文芸風土』などに参加する。岩松文彌の後を継いで、歌誌『あらつち』の主宰を二十年。会員とはあたたかい心の交流があった。戦時の応召の苦労も人柄に滲み、その厳しさもうれしい。自然と自己がひとつとなり、ありのままの実質をよく見ての、こころの歌を作る。
(吉武久美子)

【主な著作】

歌集『樹空』(樹空出版会、昭和43年)

『樹空抄除草庵雑記』(昭和48年)

『あらつち十周年記念歌集』(昭和35年)